

令和5年度 第9回（12月）教育委員会定例会 会議録

日 時：令和5年12月25日（月） 15時40分～17時15分

場 所：村民センター 小会議室

出席者：教育長 清水 閣成 職務代理者 薄田 東

委 員 出羽澤 和子・田中 博美・千 菊夫

事務局：藤澤 勇 教育次長

書 記：本間 裕子 以上7名

傍聴人：なし

1 開 会

2 教育長あいさつ

○新学校給食センターの視察ありがとうございました。

○今、中学校の保健室で来室した生徒が、タブレットを使って「来室カード」（内科・外科等）の入力する仕組みが動いてきている。今まで、用紙に記入し養護教諭が後でPCに入力してきたが、手間が省け業務改善につながっている。また、入力結果として、校内の生徒の様子を分析により理解できる。

項目等を修正可能であり、試行的であるが年度内の様子を踏まえ、小学校高学年等で活用することができたら、と考えている。

○一昨日（23日）に、南原公民館の取組み「楽集会（中学生・清水とおはぎの会）」に参画しました。中学生が思う「こんな学校になれば」について、率直な意見・考えをいただきました。まとめましたら、ご報告します。

3 報告・確認事項

（1）学校給食センター視察を終えて

教育委員

- ・「完成に近づき、良かったなー」という思いがある。
- ・広々としていて気持ちよいスペース。働きやすさを感じ取れる。
- ・動き出してみないと分からない点もあるかと思われるが、スタッフの動線等考えられ、働き方も機械化等により現状に比べて改善できるのではないか。
- ・気持ちよく働くことができるのではないか。充実した調理が期待できる。

- ・新給食センターで働きたいと願う調理員さんが、増えることを期待する。
- ・調理員さんたちが、気持ちよく働くことができるのではないか。美味しい給食が提供されるのではないか。

教育次長

- ・4月の供用開始に向けて、トレーニング等、しっかり準備をしていきたい。

(2) 給食における配膳・喫食中の異物混入の基本対応について <会議資料1>

教育長

※以下のことについて説明

- ・村教育委員会が定めている配膳・喫食中の異物混入基本対応について
- ・給食異物混入（学校給食センター）にかかわる対応

① 異物混入事案

ア R5.1.27 スライサーの刃が約1×2ミリ、欠けた。

- ・南箕輪小中学校 汁物・副食 喫食停止
- ・保護者通知 ・県へ報告

イ R5.10.16 シュウマイに針金混入。

- ・食後児童から報告 食後であり、喫食停止せず
- ・保護者通知 ・県へ報告

ウ ア・イいずれも定例教育委員会で「事故報告」として報告・共有

② 本日までの経緯

ア 12月定例議会一般質問において「学校給食時の異物混入について」の質問が通告される。

イ 通告を受けて長野日報の取材を受ける。教育長対応

その後、新聞・TV等で報道

ウ 文科省初等中等教育局健康教育・食育課に報告

エ 議会一般質問で教育長答弁（会議資料5参）

「現状を踏まえた公表含むガイドラインを検討」の方向

オ 文科省より連絡

「異物混入対応について、村の対応は問題ない」「公表については、市町村の判断による」

○現在定めている「配膳・喫食中の異物混入基本対応」の再確認・公表の在り方（ガイドライン）を検討している。

教育委員

○報道を受けて、教育委員会が隠ぺいしているように受止められかねない。

教育長

- 「隠ぺい」「非公開」ということは、全くない。先ほど申し上げたガイドラインを整え、教育委員会で図りたい。

(3) 中学生議会（11月24日）を終えて

<会議資料2>

※会議資料にて報告

○教育長

- ・生徒の皆さんの学びに基づいた一般質問、大変参考になるお考えをいただいた。中学生議会に限らず、「子どもが主体的に参画し、意見表明、多様な社会活動に参画していく機会」を保障していく必要がある。

(4) 奨学金について

教育長

- 今年度の総合教育会議を終え、奨学金について継続検討を進めていきます。国・県の動き等、教育委員会で共有・検討していきます。

教育委員

- 中学校から、「高校生への奨学金制度の案内、支援情報（資料）」が出された。共有していきたい。

(5) 児童・生徒数について

<会議資料3>

※会議資料にて報告

教育長

- 外国籍の児童生徒が、今後増えることが予想される。現状のサポート体制を踏まえ、今後の体制を考えていく必要がある。

(6) 事故報告

<会議資料4>

※非公開

(7) 教育委員から

- 伊那市では、学校の校務技師さんがチームで保育園の草刈り等を行っている。村でも、「チーム」でこのような動きが望めないか。南小の草刈り等も支援ボランティアの方で行うことも大事だが、このような動きができないか。

○保育士の給与のベースアップ（会計年度職員で担任をしている保育士等）はモチベーションを高めることになる。

教育長

○村では作業等、シルバー人材センターにお願いしている。お一人では難しい校務を複数人「チーム」で行う動きもある。

教育委員

○1月3日に予定されている「二十歳のつどい」。今回二十歳を迎える（た）方々は、コロナ禍の影響を受ける前の方。次年度の方々は、コロナ禍の影響を受けている。実行委員会形式を含め、中学校の校歌を歌う等、何か工夫ができないか。

教育長

○主催者として検討していきましょう。

教育委員

○異物混入に関連して、議員への報告はどのようになされるのか。

教育長

○月1回（臨時もあり得るが）開かれる「議会全員協議会」の場と考えている。私としては、その場で報告することは基本的に公表すること、と考えている。

教育委員

○議会一般質問等で「学芸員」が動き出している。郷土館のことを含めて、とても大事であり、良いことと思う。人がいない状況だと思うが、募集すればくるのではないか。

(8) 12月議会定例会報告 <会議資料5>

※会議資料にて報告・確

(9) 12月事業報告・1月事業計画について<会議資料6>

※会議資料にて報告・確認

(10) 1・2月教育委員会定例会日程について

1月22日（月） 15：00 村民センター 小会議室 （予定）

2月27日（火） 15：00 村民センター 小会議室 （予定）

